

地域ブランドを向上させるアイデアを発表する大学生＝中津市の新中津市学校



推し偉人展覧会、ドリンク開発…

中津活性化へ大学生提言

【中津】日本文理大と大分大の学生12人が中津市の観光資源に目を向けて活性化策を考える「地域ブランド創造体験」に取り組み、4日、企画アイデアを発表した。

県内の産学官で構成するおおい地域連携プラットフォームによる事業の一環。学生らは4人ずつ3グループに分かれ、2月下旬から計4日間の現地調査やワークショップを重ねてきた。

発表は同市殿町の新中津市学校であった。市の「不滅の福沢プロジェクト」に関連づけた

「『推し偉人』展覧会」は、幅広い分野の先哲について人物画や功績を伝えて投票してもらうアイデア。他にも、歴史エピソードにちなんだドリンク開発、観光客の滞在時間を増やす夜間イベントなどが提案された。

同市歴史博物館の高崎章子館長は「興味深いアイデアが多く、実現できそうなものは検討したい」と感想を述べた。

日本文理大経営経済学部1年の永松紗和さんは「今回の体験で中津市の新しい魅力を知ることができた」と話した。

(安東公綱)